

剣淵町の特産品を販売

「すぎなみフェスタ」「北海道どさんこプラザ札幌」

剣淵町を広く宣伝するため、東京都の杉並区で行われた「すぎなみフェスタ2016」と札幌駅にある「北海道どさんこプラザ札幌店」で剣淵町の特産品販売を行いました。

11月5・6日に東京都杉並区の桃井原っぱ公園で開催された「すぎなみフェスタ2016」は両日晴天に恵まれたこともあり2日間で10万4千人の来場者を記録しました。

広い公園に特設されたメインステージではアイドルや阿波踊りのパフォーマンスなどが披露され、そのメインステージを囲むように沢山の飲食店や杉並区の交流自治体のテントなどが所狭しと並んでいました。

北海道上川地方物産展のテントでは2日にわたり上川地方の8つの自治体の特産品を販売しました。剣淵町からは昨年も好評だった早乙女養蜂園の蜂蜜を出品したところ、今年も相変わらずの大人気で閉会時間を待たずして売り切れとなりました。剣淵町の蜂蜜のみならず、上川地方の特産品はどれも人気で売り切れ続出となり「もつとたくさん売って欲しかった」とのお声をいただくほどでした。北海道ブランドの強さを改めて実感した販売会でした。



また11月16〜22日の一週間、札幌駅にある道産品のアンテナショップ「北海道どさんこプラザ札幌店」で「剣淵特産品フェア」を開催しました。

東京でも大好評だった蜂蜜や、道の駅で販売されているスープドレッシング、いもだんご、しそジュースなど20種類以上の商品が売り場を埋め尽くしました。加えてアルパカ牧場からはアルパカにちなんだ雑貨や手袋などを、武山農園からは自慢のお米を出品。19日には剣淵高校から新鮮な農産物も出品され、売り場を盛り上げてくれました。

応援に来てくれた剣淵町のキャンペーンガールぷっちゃん（なは老若男女を問わず人気があり、多くの方に写真を撮っていただきました。同時期に開催されていた「真狩村フェア」の応援に来ていた真狩村のイメージキャラクターのゆり姉さんが登場した際には、ぷっちゃんなどゆり姉さんのかわいいツーショットも実現。

剣淵町あるいは近くの自治体出身の方には親近感を持って訪れていただきましたが、剣淵町を知らない方や外国からのお客様にも足を運んでいただくことができた貴重な機会となりました。